

大切にしている思い、影響を受けた出来事はなんですか

3月11日に開催した、みみはら地域市民向け公開講座・シンポジウム「死から目を背けること」で、私たちが失うもの」での明治大学・早川佐知子先生の講演では、人生観や死生観を取り上げた。「在宅での看取りを受け入れる思い」には、患者さん本人や家族の死生観が表れてくると思う。90歳代の母の死生観には、戦争が色濃く影響していると思った話がある。

ある日一人で田植えをしていた時に、機銃掃射を受けたという。田んぼの中で何かの陰に隠れることなどできないし、もちろん振り返りにするこ

ともできない。低空飛行してくる音と、パイロットの顔がはつきり見えたという。母は、必死に田んぼの中を逃げ回った。若い娘が逃げまどこのをかわいそうだと思ったのか、弾は母には当たらず（当てるはず、生き延びた。戦争では、たくさんの人々の「どう生きたいか」がかなえられずに命を落としていった。平和のありがたさを感じる。今も母は、その時の恐怖を忘れてはいないだろう。猫と過ごす在宅療養の日々が、その忌まわしい思い出を上回っていると思う。

母には、なるたけかわ



「親と子の百年自分史 聞き取りハンドブックセット」
2007年初版 かもがわ出版

昔の時代の日用品や写真を見ながら、親子でコミュニケーションしながら聞き取りしてみてもいいですね。

一緒に考えてみませんか 生きるためのACP

「よりよく豊かに生きるためのACP ～意思決定支援から共同へ～」

〈講師〉 金城 隆展氏 (琉球大学病院 地域・国際医療部/臨床倫理士)
 〈対象〉 医療・介護関係者、一般の方 ※医師生涯研修 申請中
 〈日時〉 10月14日(木) 18時～20時 リモート形式で開催
 〈お申込み方法〉 QRコード、または耳原総合病院のホームページからお申込みください

今回は院内研修のみならず、一般の方にも公開しています。多様な人々からのご参加をお待ちしています。



ACP Thinking Time!

ご自身にとって、最も大切にしている思いはなんですか

- ・大切な人のそばにいたいこと
- ・毎日を悔いなく過ごすこと
- ・地域とのかかわりを続けること
- ・家族との時間を過ごすこと…

できればご家族や近い方と共有してみませんか。



「てんぶら! 声を聞かせて」
絵本より

理事会報告

8月理事会 (概要)

開催日時
2021年
8月26日(木)
午後6時～8時
出席: 理事23名
監事3名

◆主な内容

- ◆報告
・拡大常任理事会、各種委員会概要
- ◆協議確認事項
・理事、監事推薦名簿の提案について承認された。

・健康友の会のみはら、社保・平和のとりにくみ報告
 ・無料低額診療の各事業所実績報告
 ・2021年7月度決算概要
 ・役員、評議員選考委員会報告



同期との絆を深められる研修を

みみはらグループ 新入職員後期オリエンテーション

支え、励ましあえる場に
7月30日、みみはらグループ新入職員後期オリエンテーションが開催されました。入職して3カ月が経過し、悩みや不安を感じ出すこの時期に、同期の仲間との交流を通して、支え、励ましあえる場となるよう企画されました。

新入職員62人が参加し、感染対策のために会場を二つにわけ、リモートでつなぐで行いました。実行委員長の土井副理事長のあいさつで始まり、アイスブレイクゲーム、先輩から後輩への励ましやアドバイスを続

ました。その後、就職してからの3カ月間を、「喜・怒・哀・楽」の思いに分けて振り返り、自身の失敗の経験や、出来るようになって嬉しかったことなどをグループで報告しました。様々な思いを基に、「患者さん思いの看護師になる」「一人立ちする」など、自身の目標を決めて発表しました。

同期との交流の大切さ

オリエンテーションの締めくくりには、参加者一人ひとりに職場から応援や期待を込めたメッセージカードが贈られ、笑顔や歓声でいっぱいになりました。

職場を離れて交流することでのリフレッシュできる時間となり、「同期と久しぶり会い、話せてよかった」、「悩みを共有できてよかった」、「もっと交流したい」などの感想が聞かれました。

コロナ禍で研修や交流が大幅に制限される中で、職種を越えた同期との交流が心の支えとなり、頑張る力になるのだと改めて感じました。今後も、同期との絆を少しでも深められるような研修を企画したいと思

（新入職員後期オリエンテーション）
実行委員会事務局